

# 令和3年度 第2回

## 関市行政改革推進審議会

### 会 議 録

-概要版-

(令和4年3月25日)

## 関市行政改革推進審議会

1 会議名 第2回関市行政改革推進審議会

2 日時 令和4年3月25日（金）午前13時30分～15時

3 場所 関市役所6階 大会議室

4 出席委員 11名 (敬称略)

名	区 分	
石竹 智範	1号委員	関金融協会
北村 房子	1号委員	関市地域女性の会連合会
佐伯 義夫	1号委員	連合岐阜中濃地域協議会
○櫻井 寛和	1号委員	自治会連合会
鈴木 良春	1号委員	岐阜県関刃物産業連合会
多田 幸泰	1号委員	関青年会議所
市原 輝明	2号委員	学識経験者
◎藪下 武司	2号委員	学識経験者
加藤 知子	4号委員	一般公募
野田 哲貴	4号委員	一般公募
林 加奈	4号委員	一般公募

◎：会長、○：副会長

5 欠席委員 2名 (敬称略)

各務 剛児	1号委員	関商工会議所
長屋 邦良	1号委員	関市西商工会

6 事務局  
市長公室長ほか4名

7 傍聴者 なし

8 議事日程 次第のとおり

## 第2回 関市行政改革推進審議会

日 時 令和4年3月25日(金)  
13時30分～15時00分  
場 所 関市役所6階 大会議室

(次 第)

1 開 会

2 議 事

せき行財政改革アクションプランⅢ  
・進捗状況報告

3 閉会

(配付資料)

- ◎せき行財政改革アクションプランⅢ R3 期末報告書
- ◎行政改革審議会委員からの質問事項への回答一覧

(午後1時30分 開会)

#### ○開会挨拶・新規就任委員報告(企画広報課長)

・連合岐阜中濃地域協議会事務局長 佐伯委員、関市西商工会長 長屋邦良委員が新たに委員として就任された。

#### ○議事

・行財政改革アクションプランⅢの進捗状況について、令和3年度期末報告書にて事務局より説明。

#### 【主な意見】

##### <改革項目3 職員手当の見直し>

委員：達成状況が廃止7種類、縮小3種類となっている。令和5年度の目標が「2」であるが、現状の達成数はどのように考えるのか。

事務局：職員手当の総数としては33種類あり、令和3年度に全て見直した。そのうち廃止7種類、縮小3種類となり、達成数は「10」と計上する。

委員：今後の見直しについて、「業務量の変化や時代の流れに即した手当になるよう定期的に見直しをする」とあるが、定期的とはいつやるのか、具体的に発信してもらわないと分からない。

##### <改革項目6 イベント等の点検>

委員：コロナ禍によりイベント等が開催されなかったことは重々承知しているが、中止により使わなかった予算の使い道を伺いたい。

事務局：使わなかった予算はそのまま不執行額となっている。

委員：中止になって残った予算を、コロナ禍の中でも開催できるような方法の調査等に充てるといいかと思う。

委員：今年度、講演会を実施したが、当初はオンラインと会場の同時開催、見ることができなかった方向けに動画配信の3段階で考えていた。コロナ禍により、会場での開催ができなかったが、オンラインを進めていたため中止になることはなかった。

関市でも、健康事業など中止にするのではなく、市民の方が参加できるように考えて欲しい。

##### <改革項目9 消防団組織の見直し>

委員：消防団員が3人揃わないと消防車を出動できないと聞いた。せっかく消防車があるのに火事があっても駆け付けられないのは残念なので、例えば消防団0Bを含めることで駆け付けられるような体制を作ってもらいたい。

##### <改革項目12 わかくさ・プラザの利用料金制度導入の検討>

委員：所管課としては「生涯学習の拠点として減免、市主催は無料」という方針が課題だと考えているように思えるため、改革という点では一番メスを入れるべきところ。引き続き検討を。

事務局：施設の性質上、料金を取ることも市民の皆様に使ってもらうことがより重要であり、減免等の廃止等は今後検討していきたい。

委員：他市の施設では、市内の方と市外の方で料金が違うところがある。例えば、板取温泉は一律料金になっており、改修等に予算が足りないということであれば、市内の方はそのままの料金で、市外の方の料金は上げるなど検討の余地があるのではないかと。

#### <改革項目 18 ふるさと納税を活用した返礼品づくり>

委員：ふるさと納税の納税額は令和 2 年度に約 49 億円、今年度末は約 38 億円になるかと思うが、比較すると 20 数パーセントのダウンとなる。一方、アクションプランにはふるさと納税について「年々増加傾向にある」と記載があり、このような流動的なものはしっかりと見直すことも一度考えて欲しい。

#### <改革項目 19 人事評価制度の見直し>

委員：従来の決まった仕事をしっかりやるということに加え、新しい取組もする職員を評価するような制度を作ってもらいたい。

委員：地域支援職員の評価については、基準は特に定められておらず所属する担当課長が評価しているとのことだが、課長にも異動があり、基準が無いことには危険性があると思う。誰でも判断できる基準が必要である。

委員：我々地域が地域支援職員に支援してもらおう立場であるため、担当課長よりはむしろ我々地域の者が評価する機会があると良い。

事務局：地域支援職員の評価については、今後検討したい。

#### <改革項目 21 テレワーク勤務、オンライン会議の推進>

#### <改革項目 25 ペーパーレス会議及び電子決裁の推進>

委員：オンライン化が進むにつれペーパーレス会議も増えてくると思うが、資料の共有ツールなど市役所では導入していないツールもある。効果的な会議の実施や講演等の質の向上のためにも便利なツールを導入してはどうか。また、移動費の節約にも繋がるためオンライン会議はぜひ進めてほしい。

#### <改革項目 23 学校施設の長寿命化及び学校再編の推進>

委員：20 年後には一斉に改築時期を迎え、すでに改築時期にある校舎・体育館も 16 棟あるとのことだが、施設の維持管理に関する将来に向けた計画はあるのか。

事務局：学校施設長寿命化計画を策定しており、先々の改修計画を定めているが、計画はあるものの改修にあたり財源が必要となるため、あわせて考えていく必要がある。

#### <改革項目 24 公用車への小型 EV 車の導入>

委員：令和 3 年度には経済産業省より補助金があり、令和 4 年度は分からないが、EV 車の導入にあたっては国の補助金をぜひ利用してもらいたい。

事務局：補助金など活用できる財源は活用したい。

### <改革項目 30 マイナンバーカードの普及>

委員：マイナンバーの普及にあたり「事務量増加が見込まれるため会計年度任用職員の増員を見込んでいる」とあるが、マイナンバーを普及させるために余分な経費を使うということで、市役所が何をやりたいのか分からない。マイナンバーカードを増やしたいのか、増やすために予算を使ってもいいのか、こういったやり方で市民の皆様が納得されるのか疑問。

### ○その他全体

委員：アクションプランに数値目標があるにも関わらず、期末報告書には数値目標の結果がほとんど出ていない。数値目標があるのであれば数値で示してほしい。

委員：令和 5 年度の目標数値に対して現状の数値が無いため、その取組が順調なのかそうでないのか全く伝わってこない。期末報告書に順調と記されていても、市役所が自分達で目標を決めて、自分達は頑張ったから順調にしておこうと、そういう評価をしているようにしか見えない。

委員：KPI 指標は数値で語らないといけないが、目標数値があるうえで、今年度の取組内容は文章で説明があり、数字での評価なのか、文章での評価なのか、両天秤になってしまっている。

委員：単年度ごとに目標の数値を決めないと分析もしづらく、数値をベースとした要因分析を行うことによって目標に近づけられると思います。

事務局：改革項目によっては数値目標があるが、令和 3 年度期末報告書には数値目標に対する進捗の表記がなかったため、今回は数値の進捗を示す。

### ○閉会の挨拶（市長公室長）

（午後 1 4 時 5 3 分 閉会）